

「令和2年度 第3回公開研究会」を開催しました。

12月11日（金）に「令和2年度 第3回公開研究会」を開催いたしました。令和2年度はテーマを「みんなが学ぶ、みんなと学ぶ地域の支援学校を目指して～深い学びの実現を目指す授業づくり～」とし、「深い学び」と児童生徒に育む資質・能力とのつながりを整理し「深い学び」につなげるための授業づくりにおける視点で研究を進めてきました。さらに、新型コロナウイルス感染防止のために様々な教育活動の中止や延期を余儀なくされる中、コロナ禍だからこそ、参加者と共に授業について語り、研究者の講演から専門的な知識や考え方などを得ることを目指し公開研究会の実施に至りました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止対策として、授業公開はVTR視聴、ポスターセッションは人数を制限して実施しました。また、京都大学大学院教育学研究科 石井英真准教授による講演会は、講演は録画、質疑応答は石井先生と会場（外部参加者3会場、本校各職員室）をオンラインでつないでの聴講となりました。各会場とも授業づくりや深い学びについて熱心に意見交換や協議がなされ、有意義な研究会となりました。

石井英真先生のご講演を受けリモートで質疑応答を行いました。



演題

「資質・能力の育成に向けた深い学びの実現を目指す授業づくり」

京都大学大学院教育学研究科 石井英真准教授



本校教職員は、各職員室に分かれてリモートで聴講しました。



小・中学校、高等学校、特別支援学校などから22名の参加がありました。小・中・高等部の3つの分科会において、授業参観、ポスターセッションとも熱い議論が交わされました。

